

令和3年度 国立中央青少年交流の家

教員免許状更新講習【選択領域】

～学校教育における体験活動の効果的な進め方～

令和3年10月2日(土)・3日(日) 0泊2日



○趣旨

主体的・対話的で深い学びを一層進めていくことを目指して、体験活動の意義を確認するとともに、それらを効果的に用いる方法について理解を深める。また、受講者自身がそれぞれ抱えている現状や課題を出し合い、共有し合うことで、新たな気づきや学びの機会とする。



○参加者

幼・小・中・高・特支教諭，その他 計23名

○事業の内容

(1)「教育の現状と課題」

講師：御殿場市教育委員会 教育長 勝亦 重夫 氏

教育をめぐる現状や課題とともに、国や県・御殿場市の教育施策について理解を深めた。中でも不登校への取組や、ICT教育の推進、校種間の滑らかな接続など求められていることを理解した上で、自身は教職員として何をを目指すのかを、考える機会となった。

(2)「アクティブラーニングを促す仕掛けづくり」

講師：東京学芸大学附属世田谷小学校 教諭 沼田 晶弘 氏

子どもとの信頼関係を築いていくポイントや、主体的に行動するためのシステムづくりの工夫など、講師の紹介する魅力的な実践例から、児童・生徒が自ら課題に気づき、その解決に向けて夢中になって取り組む態度や技能を養うための指導法について理解を深めた。



(3)「教師のリーダーシップ～完璧なリーダーはもういない～」

講師：ナガオ考務店 ファシリテーター 長尾 彰 氏

チームの話では、成長ステージについて理解を深め、自身の職場がチームのどの段階にあるのか、また、チームになるにはどのような働きかけが必要なのかを学んだ。さらに、リーダーシップ論では、リーダーのスタイルについて学び、リーダーの在り方について考える機会となった。



(4)「体験活動と安全教育」

講師：岐阜女子大学 教授 井上 透 氏

体験活動で起こり得るリスクについて実際のデータを通して学ぶことにより、リスクの仕組みを理解し、それらのデータや事例から教育現場におけるリスクマネジメント・リスクコントロールについての考えを深めた。



(5) 『『キャンドルのつどい』の進行とレク指導』

講師：日本レクリエーション協会公認 レクリエーションコーディネーター
田井中 正志 氏

学校の集団宿泊活動で人気の高い夜のプログラムである「キャンドルのつどい」の具体的な進め方と、様々な場面で使えるレクリエーションの内容や指導方法を学んだ。特に新型コロナウイルス感染症対策を考慮したレクリエーションは、大変参考になるものであった。

(6) 「野外炊事の指導法と、防災教育の充実化」

講師：国立中央青少年交流の家 企画指導専門職 長谷川 賢

薪割りの正しいやり方や、野外炊事を実施する上での安全指導について学んだ。さらに、災害時を想定した野外炊事を行い、防災に対する理解を深めた。また、危険予知トレーニングや災害イメージングを高める活動を通して、防災教育の充実を図る指導法を学んだ。



(7) 「学校教育における体験活動」

講師：國學院大學 教授 杉田 洋 氏

体験活動の充実が求められている背景、新しい学習指導要領で重要とされている体験活動の内容とその教育的意義、言語活動と体験活動の関連について研修した。また、異年齢集団による触れ合いや、学級が子供たち同士の関わりによって成長していく様子などが映像やスライドで取り上げられ、感動して涙ぐむ受講者も見られた。

《事後アンケートより》

【講習会の運営面や職員の対応について】 満足度：4段階評価で3以上 100%

- ・職員の方々の対応はとてもあたたかく、初めての免許更新をこの御殿場で行ってよかったと思いました。
- ・丁寧に対応して頂きとてもありがたかったです。コロナの対策も細かくされていて、安心して活動することができました。
- ・飲料やケータリング、ファイル等々、細やかな準備ありがとうございました。

【講習会全体を通して】 満足度：4段階評価で3以上 100%

- ・どの講習会も、今後の教育活動に活かしたいと思う内容ばかりでした。せっかく受講するなら子どもたちに還元できるものを、と思っていたのでとても満足です。
- ・とても啓発的でした。オンタイムで、時代のニーズに合ったものがほとんどで、講師の方も教育畑の方ではなかったのが良かったです。
- ・実習もあり、いろいろな方々とも交流が持てて良かったです。
- ・講習会で学ばせて頂いたこと全てにおいて、教員としての資質向上につながる内容だったと思います。非常に勉強になりました。

《成果と課題》

- 経験豊富な外部講師の協力を得られたおかげで、参加者から高い満足度を得ることができた。
- 講義と実習をバランスよく構成し、実践的な講習プログラムを数多く取り入れたことによって、学校現場で取り入れやすいプログラムとして紹介することができた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、日程を含め変更を余儀なくされたが、感染対策を徹底して行うことにより、参加者にも安心して研修に取り組んでもらうことができた。
- 講義の一部を講演会という形で実施し、受講生以外にも講義を聴講してもらった。このような形で実施したことにより、多くの方々に教養を深める場を提供することができた。
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、宿泊なしで開催したが、参加者からは「宿泊して参加者同士の学び合いの場をより多く持ちたかった」という意見もあった。来年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、宿泊ありでの実施も検討したい。